

## 開 会 挨拶

日本政策金融公庫総裁 細川 興一

本日は大変お忙しい中、多くの皆様方にご来場いただきまして、まことにありがとうございます。第7回日本公庫シンポジウムの開催に当たりまして、ひと言ご挨拶申し上げます。

このシンポジウムは、私ども日本政策金融公庫のお客様であります中小企業の方々が直面する今日的な課題をテーマとして取り上げ、毎年開催しているもので、今回で7回目となります。昨年は「中小企業の人材確保と育成」をテーマに取り上げましたが、今年は「地域の活力を生み出す創業企業」と題しまして、東洋大学の安田先生や、このたび当公庫が発行しました創業企業事例集『起こす！50』にご登場いただいた経営者の方々をお招きし、本日開催の運びとなりました。

創業企業は、雇用の創出や新たな事業の担い手として、地域の活力を生み出しています。ところが、昨今の我が国では、開業率が廃業率を下回り、企業数が減少する状況が続いております。こうした背景から、開業を希望する方が円滑に開業し、開業後に直面するさまざまな課題を克服していくことにより、多くの企業が生まれ、成長することが期待されています。

私ども日本政策金融公庫でも、創業者への支援に重点的に取り組んでおり、今年度上期の創業融資の実績は1万3,225企業、958億円で、過去10年で最高となった平成26年度と同水準となっております。

本日は総合研究所の調査・研究の成果とともに、

実際に開業し、業績を上げてこられた経営者の方々の現場でものご体験を踏まえながら、開業にかかる課題とその克服について、深く掘り下げた議論ができればと考えております。

なお、私どもの総合研究所に対しましては、日頃から中小企業専門の研究機関として、中小企業研究で常に高い水準を追求するよう指示しております。そのためには、日ごろの研究成果を積極的に発信し、外部の方々から評価していただくことが何よりも重要です。このシンポジウムはその絶好の機会であると位置付けております。

ご参加いただきました皆様方から忌憚のないご意見、ご評価をいただき、総合研究所が目標とする水準に一步でも近づくよう、また、本日のシンポジウムがご来場の皆様方にとりましても価値のある内容のものとなりますことを願ひまして、私の開会の挨拶とさせていただきます。

